

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 金 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目 (英語名)	社会と歴史 (社会意識論) Society and History ( Theory of Social Consciousness)		
対象年次	1・2 年次	講義形態	講義
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類	人文・社会科学科目
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 保坂稔 <a href="mailto:hosaka@nagasaki-u.ac.jp">hosaka@nagasaki-u.ac.jp</a> 環境科学部 2階 255 オフィスアワー:木曜 10時～12時			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:知識・思考力・倫理感</p> <p>授業方法:現代社会で生じる問題を社会学的に分析するための方法について、社会意識論の観点から学ぶ。講義の中では、家族、政治参加、コミュニケーション、集団、非行といった具体的事例を取り上げる。</p> <p>授業到達目標:社会意識論の基本概念を簡潔に説明できる。</p>			
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>人間行動の諸特徴に関して社会学・社会心理学的な観点から講義する。</p> <p>1回目 イントロダクション</p> <p>2回目 行為と行動</p> <p>3回目 社会意識論の源流</p> <p>4回目 権威主義的性格</p> <p>5回目 群衆行動</p> <p>6回目 宗教の理解</p> <p>7回目 科学的合理性</p> <p>8回目 ナショナリズム</p> <p>9回目 ポストモダン</p> <p>10回目 社会的欲求</p> <p>11回目 社会化</p> <p>12回目 コミュニケーションの効果</p> <p>13回目 社会病理学1:犯罪とラベリング理論</p> <p>14回目 社会病理学2:正常と異常</p> <p>15回目 定期考査</p>			
キーワード	合理性、権威主義的性格、コミュニケーション論的転回		
教科書・教材・参考書	参考書:『現代社会と権威主義』(保坂稔・東信堂)		
成績評価の方法・基準等	試験(90%)、講義中の小レポート(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	関係する専門科目,資格等:環境社会学、社会調査論		
備考(準備学習等)			